Panasonic®

保管用

保証書別添付

施工説明付き

取扱説明書

住宅用照明器具（シーリングライト）

PRODUCETHEATER

プロデュースシアター(LEDスポットタイプ)

品番 **HFAZ8900,HFAZ8900N**

（シルバーメタリック仕上）

HFAZ8901,HFAZ8901N

（ホワイト仕上）

もくじ

上手に使って上手に節電

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（2～3 ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■天井

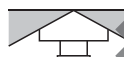
必ず守る

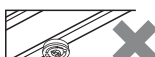
●必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

禁止

●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

船底天井

格子天井

竿縁天井

●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

禁止

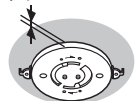
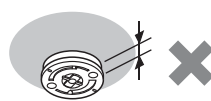
●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

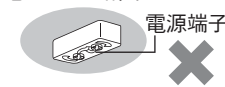
落下によるけがのおそれがあります。

出しろの少ないもの

ローゼット10mm未満

引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの

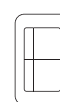
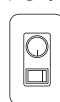
シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき、自主点検してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

使用上のご注意

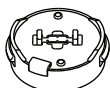
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。
また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。（本体のリモコン受信器の「補助スイッチ」を押せば消灯/全灯は可能）
●壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
●低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。
また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

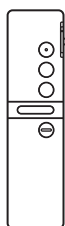
●本体取り付け用付属部品

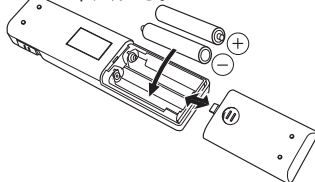
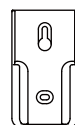
□ アダプタ(1個)

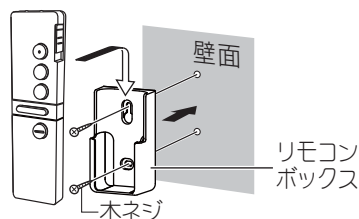
補修品番 NZ2716M

□ 配線器具（丸型フル引掛シーリング(1個)）

□ 配線器具用木ネジ(2本)

●照明用リモコン付属部品

□ リモコン HK9327K（1個）

□ 単3形乾電池(2本)

リモコンの裏ブタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。

□ リモコンボックス（1個）

□ リモコンボックス用木ネジ(2本)

リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。

各部のなまえとはたらき

照明器具

リモコン受信器
（詳しくは ☞5ページ「リモコン受信器」参照）

配線器具

アダプタ

ボタン

枠

取り付け方向指示ラベル

ランプ
（100形ツインパルック プレミア蛍光灯）
（ランプを動かすと音がする場合がありますが、異常ではありません。）

フロントLED（白色）スポットライト

LED外郭部

LED光源部

フロントLED（白色）スポットライト

受け具（3カ所）

本体
（アース端子があります。）

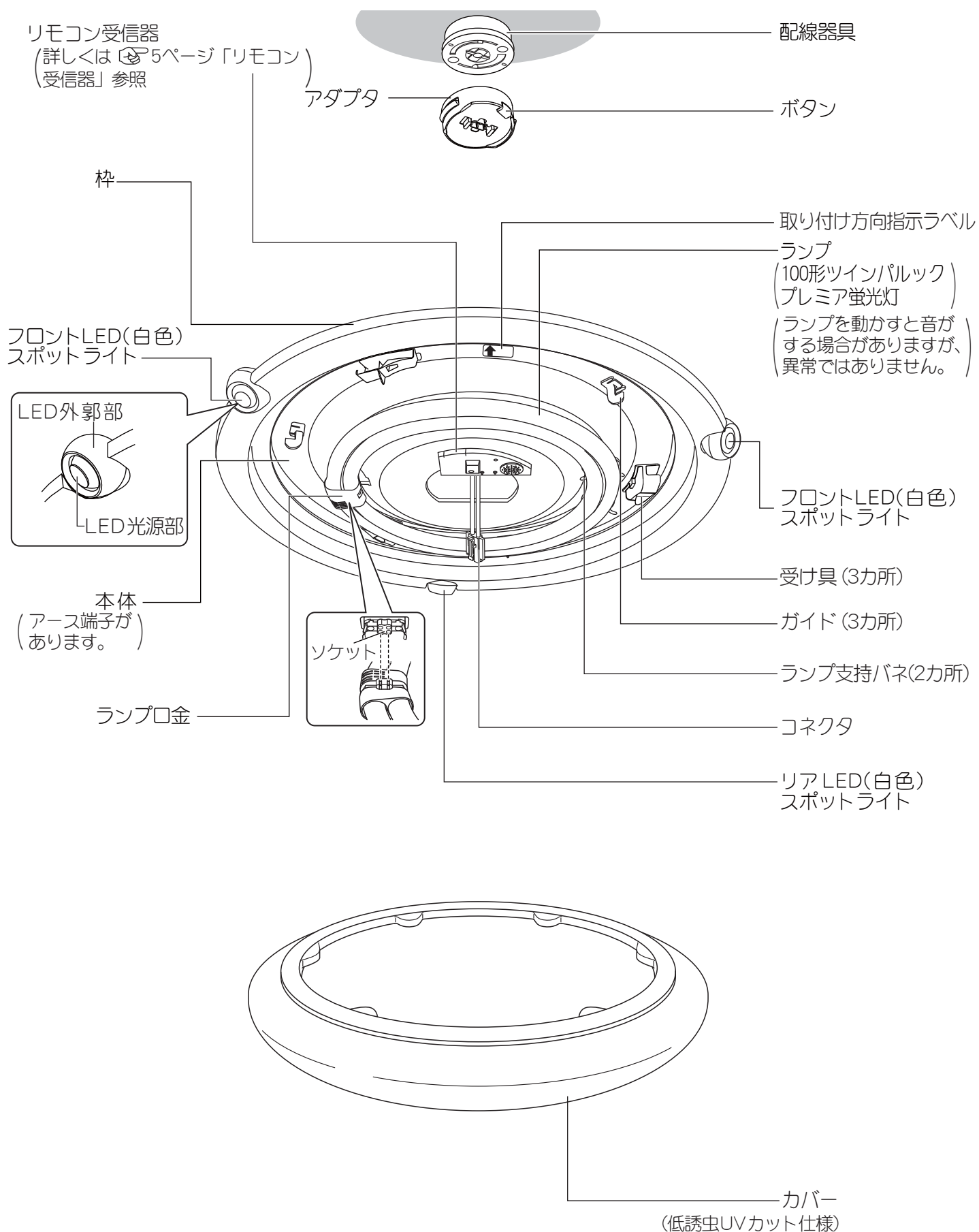
ガイド（3カ所）

ソケット

ランプ支持バネ（2カ所）

ランプ口金

コネクタ

リアLED（白色）スポットライト

リモコン受信器

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください。）

補助スイッチ
押すごとに点灯/消灯します。

音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
無音で「切」、「ピッ」と音がして「入」。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
☞ 10ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞12ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

リモコンがない場合
補助スイッチを押す
⇨チャンネル1に設定されます

ブザー

リモコン

リモコン送信部

暗ボタン
蛍光灯の明るさを100%～約10%に、LEDスポットライトは3灯（フロント+リア）、2灯（フロント）、1灯（リア）、消灯に変えることができます。

明 ボタン
蛍光灯の明るさを約10%～100%に、LEDスポットライトは3灯（フロント+リア）、2灯（フロント）、1灯（リア）、消灯に変えることができます。

消灯ボタン
消灯します。

チャンネルスイッチ
操作したい器具のチャンネル 1～3 に合わせて使います。
（☞10ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照）

全灯ボタン
蛍光灯とLEDスポットライトが同時に点灯します。

お好みボタン
蛍光灯+LEDスポットライト各々がお好みの明るさで点灯します。

-☼- ボタン
LEDスポットライトのみ点灯します。
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 ☞ 3ページ「使用上のご注意」参照

1 天井についている配線器具を確認する

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

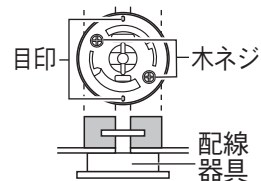
◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

⚠ 警告

必ず守る

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 **2** の作業へ進んでください。

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット

角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

天井からの出しろが 22 mm の配線器具

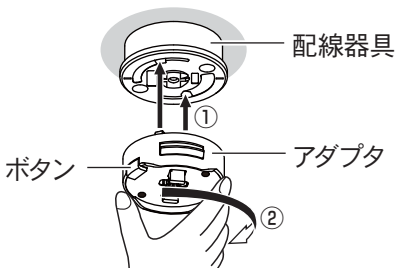
引掛埋込ローゼット

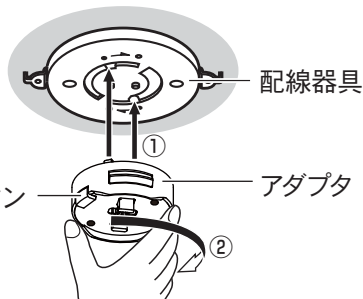
引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認

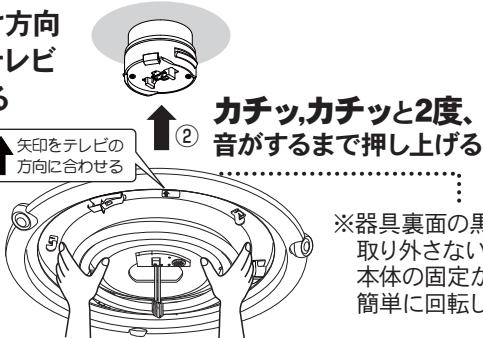
ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

3 本体をテレビの方向に合わせて押し上げる

◎取り付けの際、ランプ、LEDスポットライトや枠を持たないでください

①本体の「取り付け方向指示ラベル」をテレビの方向に合わせる

②カチッと音がするまで本体を押し上げる

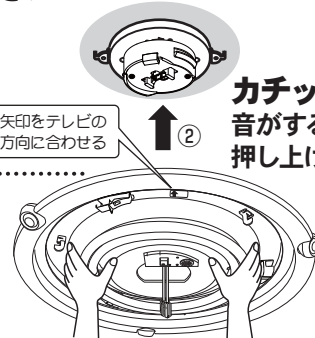
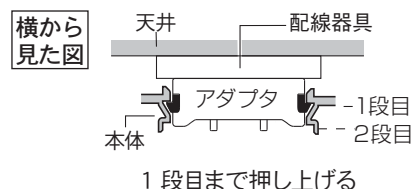
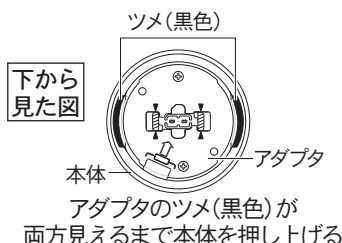
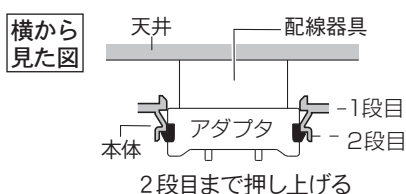
カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

カチッと1度、音がするまで押し上げる

●アダプタの本体取り付け位置

2段目まで押し上げる

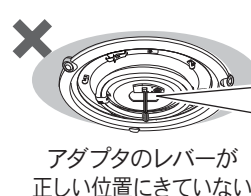
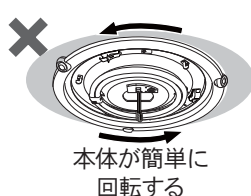
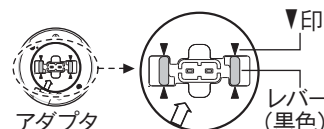
アダプタのツメ(黒色)が両方見えるまで本体を押し上げる

1 段目まで押し上げる

確認

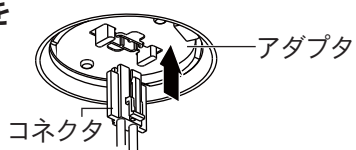
本体が正しく取り付けられているか必ず確認する。

本体がグラグラする

本体が簡単に回転する

アダプタのレバーが正しい位置にきていない

上図の場合、正しく取り付けされていないので **3** を再度行ってください。

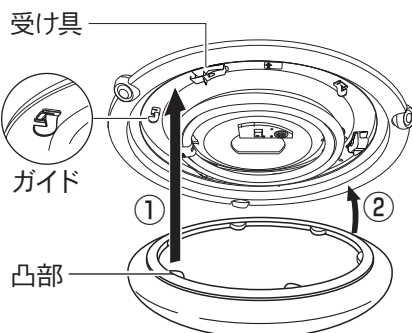
4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを確実に差し込む

確認

●コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ **3** に戻る。

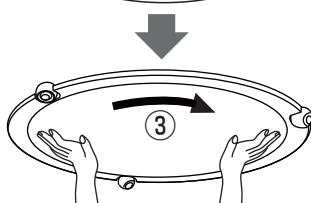
●引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。

5 カバーを取り付ける

①カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる

②カバーを持ち上げる

③カバーを止まるまで右に回す

受け具
ガイド
① ②
凸部

⚠ 注意

カバーは確実に取り付ける

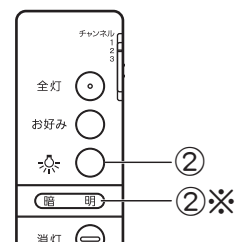
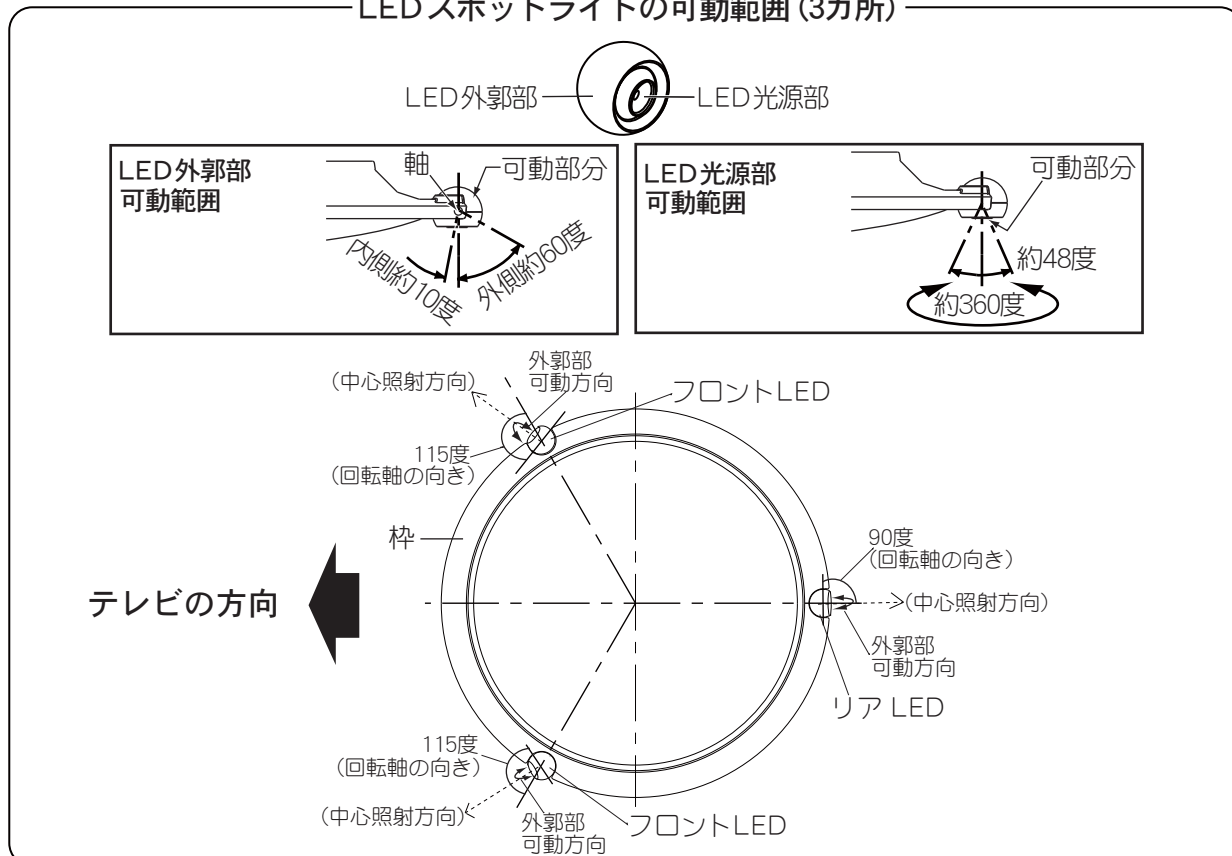
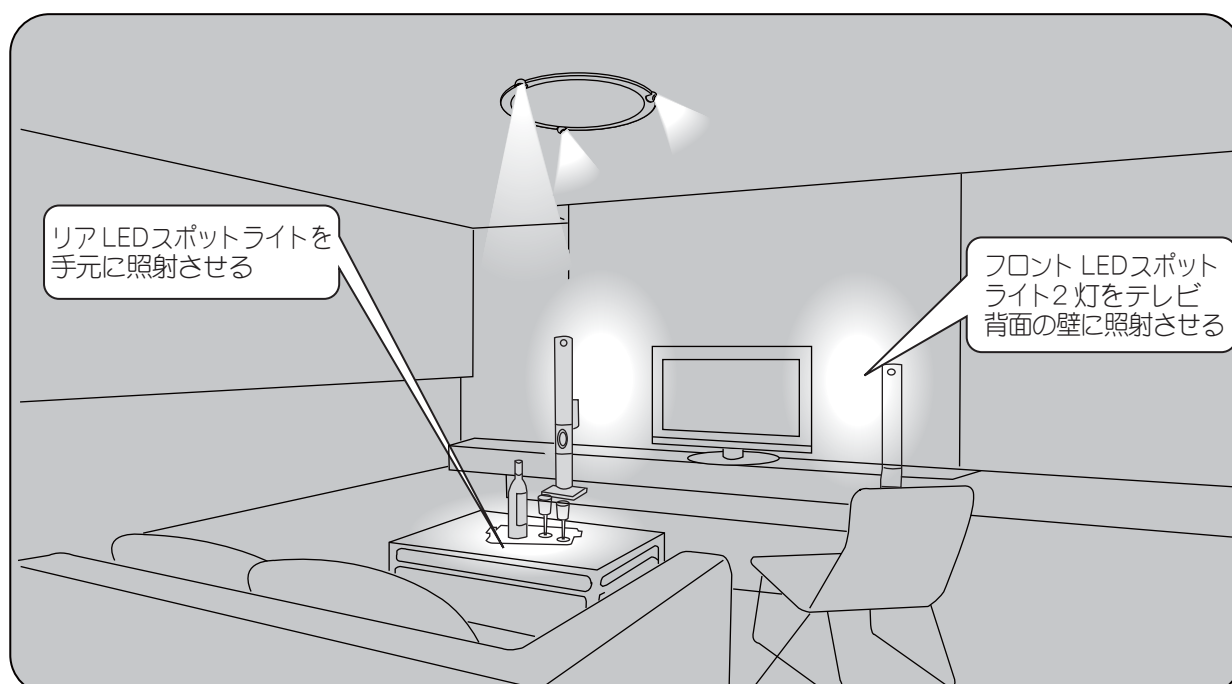
落下してけがのおそれがあります。

確認 バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に
回して外し、再度、**5** を行う。

（次ページにつづく）

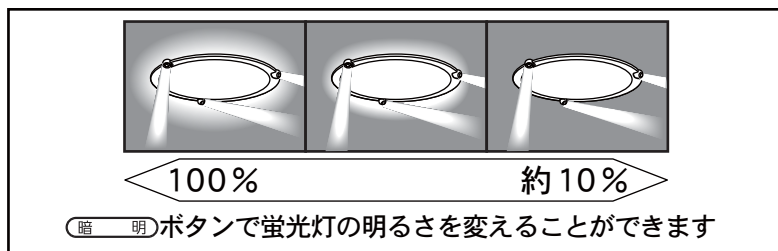
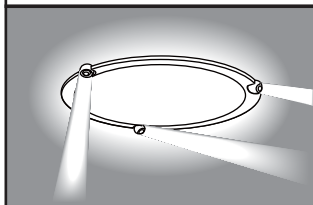
照明器具を取り付ける　つづき

6 LEDスポットライトの照射方向を合わせる

①電源を入れる
②リモコン送信器の ☼ ◯ を押してLEDを点灯させる（3灯点灯します）
　※3灯点灯しない場合は 明 を押して3灯にする
③ LEDスポットライトを手で可動させて、下図の方法で照射方向を調整する

●LEDスポットライト可動部分は指定以上に動かさないでください。破損の原因となることがあります。

フロントLEDスポットライトの2 灯はテレビ背面の壁を照らし、リアLEDスポットライトの1 灯は手元を照らすことで、シアタールームとしてのライティングをお楽しみいただけます。

リモコンで操作する

●「全灯」ボタンを押すと、蛍光灯とLEDスポットライトが同時点灯します。
（お買い上げ時は蛍光灯100％、LEDスポットライト3灯全て点灯します。）

蛍光灯＋LEDスポットライト

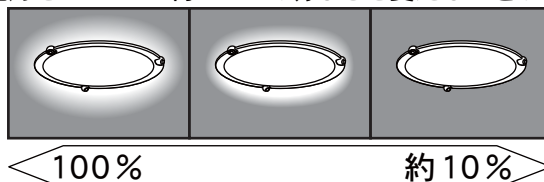
暗 明 ボタンで蛍光灯の明るさを変えることができます

●蛍光灯の明るさを変えても記憶しません。
「全灯」ボタンを押した時の、蛍光灯の明るさを変える場合は
10ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

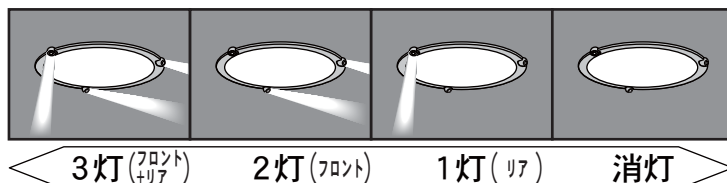
●「お好み」ボタンを押すと、蛍光灯とLEDスポットライトを各々、お好みの明るさで点灯します。(注)(お買い上げ時は蛍光灯約60％で点灯します。）

各々の明るさ設定方法　お好み ◯ を押すたびに設定する部位が切り替わります。

① 蛍光灯の明るさを変える
暗 明 ボタンを押すと
蛍光灯を100％～約10％で明るさを変えることができます。

100％　約10％

蛍光灯

②LEDスポットライトの灯数を切り替える
暗 明 ボタンを押すと
LEDスポットライトの灯数を切り替えることができます。

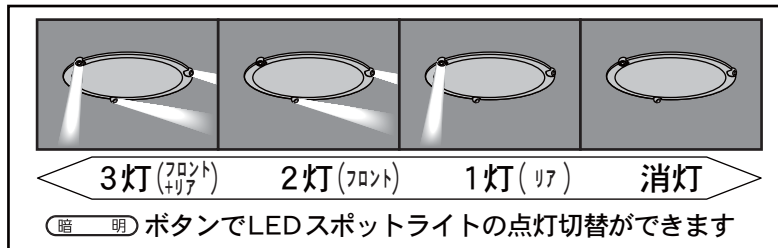
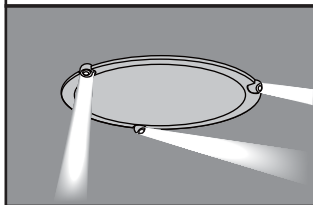
3灯（フロント＋リア）　2灯（フロント）　1灯（リア）　消灯

●各々変えた明るさは記憶され、「お好み」ボタンを押すと、設定した明るさで再現します。

同梱
リモコン
送信器
HK9327K

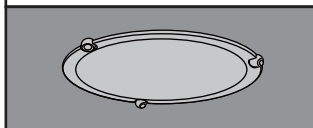
チャンネル 1 2 3
全灯
お好み
暗 明
消灯

●「☼」ボタンを押すと、LEDスポットライトのみ点灯します。
（お買い上げ時はLEDスポットライト3灯全て点灯します。）

LEDスポットライト

暗 明 ボタンでLEDスポットライトの点灯切替ができます

●シアタールームのあかりとしてお使いいただけます。

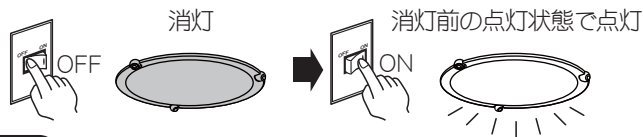
●「消灯」ボタンを押すと、消灯します。

消灯

更に 明 ボタンを押すごとに、LEDスポットライトが
1灯（リア）➡ 2灯（フロント）➡ 3灯（フロント+リア）と
点灯します

注）消灯からLEDスポットライト1灯、または2灯点灯させた時、一旦3灯点灯してから1灯、または2灯になります。
注）蛍光灯は消灯する際、約10％の明るさまでゆっくり暗くなってから消灯します。

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「LEDスポットライト」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LEDスポットライト」で点灯します。

メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、 壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

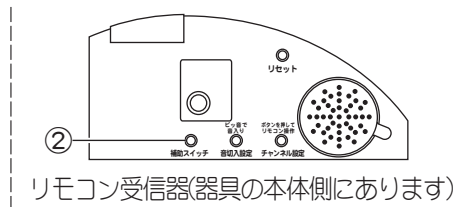
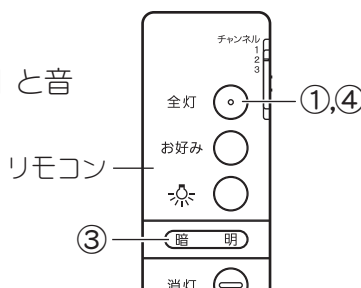
メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約10％の範囲で設定することができます。

①リモコンの 全灯 を押す
②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける
③リモコンの 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える
④リモコンの 全灯 を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

リモコン受信器(器具の本体側にあります)

複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル2）
③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

リモコン
①
③
② チャンネル
1
2
3

リモコン受信器(器具の本体側にあります)

メモ

●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。

本体、アダプタの外しかた

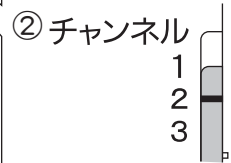
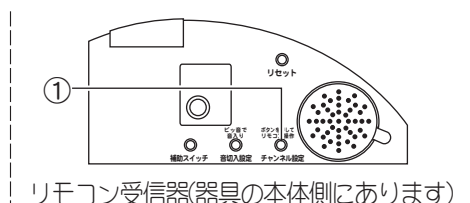
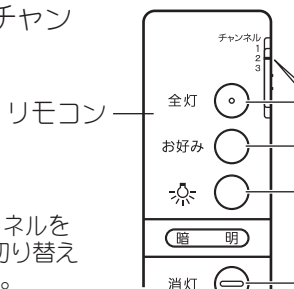
1 コネクタを外す

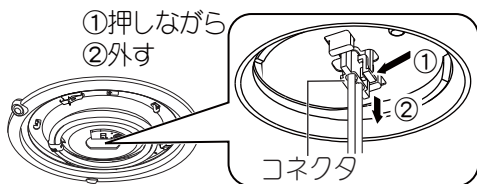
①押しながら
②外す

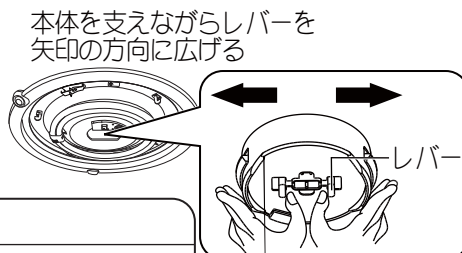
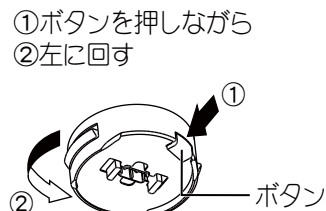
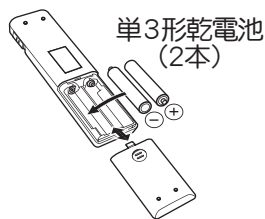
コネクタ

2 本体を外す

本体を支えながらレバーを矢印の方向に広げる

レバー

3 アダプタを外す

①ボタンを押しながら
②左に回す

⚠注意

■ランプ、LEDスポットライトや枠を持って器具を外さない
けがや器具の破損のおそれがあります。
※必ず本体を持ってください。

電池交換について

電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。

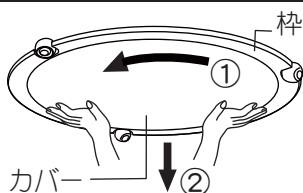
⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

ランプを交換する

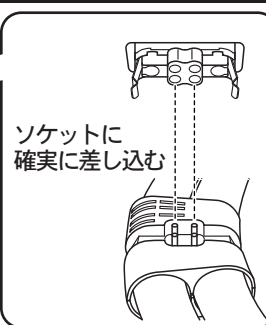
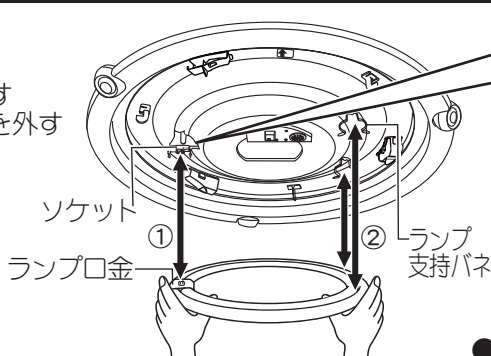
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

1 カバーを取り外す

①カバーを止まるまで
左に回す
②カバーを外す

⚠警告	枠は本体側に付いていますので、枠を持って回さないでください。本体落下によるけがの原因となります。

2 ランプを交換する

●取り外す
①ランプ口金側を外す
②ランプ支持バネ側を外す

●取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②ランプ支持バネで固定する

3 カバーを取り付ける

☞ 7ページ
「照明器具を取り付ける」手順 5 参照

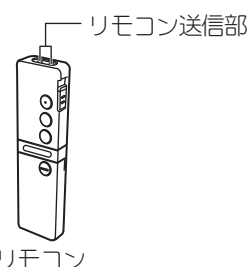
お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

⚠注意	構造的にやむをえず、本体よりネジの先端が出ていますので、本体お手入れの際、指先や手のけがには充分ご注意ください。

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、本体を押し上げてからコネクタを再度、差し込む（☞7ページ「照明器具を取り付ける」手順 4 参照）
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む（☞11ページ「ランプを交換する」手順 2 参照）
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞11ページ「ランプを交換する」参照）
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする（☞10ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する（☞11ページ「電池交換について」参照）
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる（☞11ページ「電池交換について」参照）
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する（☞10ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照）

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを変更する
（☞5ページ「リモコン受信器」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	蛍光灯とLEDスポットライトが全点灯時：94W LEDスポットライトのみ全点灯時　：3.9W （リモコンで消灯時、1W以下）	100形ツインパルックプレミア蛍光灯

●ランプの光色はランプをご参照ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　ー
お買い上げ日	年　月　日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断･修理･調整･点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	○○○○○○
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。
またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571−8686 大阪府門真市門真1048

HFAZ8900-T3A5　N0308-050112